

## タイトル

上田法の介入により身体機能の早期改善に向けた取り組み  
～in body を用いた客観的評価と問題点発見・改善の関係性追求～

### 【はじめに】

長年歩行の不安定性に悩みのある患者に対し理学療法評価に追加して「in body」を用いた調査を行う事でより全身状態に合わせた上田法治療が行え、早期改善につながるのではないかと考え介入した結果を報告する。また体成分などの数値や評価結果の変化と上田法との関係性についても検討した。

### 【方法】

上田法治療の実施と必要項目に対する理学療法を実施し、継続的評価を理学療法評価に追加して in body での評価を行った。評価は先行研究を参照し、理学療法評価を2週間毎に、in body を4週間毎に実施した。

### 【結果】

体組成で改善が見られた項目は、筋肉量、徐脂肪量、体脂肪量であった。in body の結果と相関があった評価として CS - 30、10m歩行、TUG があげられる。

### 【結論】

in body で得られた情報を元に上田法治療を中心とした治療展開をする事で早期改善につながる可能性が示唆された。今後上田法との関連を明らかにする為に2群間比較などについても検討を進め、関係性の追求を行う必要があると考えた。